

女性医療の聖地は銀座の真ん中

⑬③ 対馬ルリ子女性ライフクリニック 銀座 (東京都中央区)



中央通りに面した対馬ルリ子女性ライフクリニック 銀座が入居するビル

中央通りを挟んで松屋が見えるしゃれたビルの7階で、「対馬ルリ子女性ライフクリニック 銀座」は、女性のための医療・健康増進活動を行っている。

医師も全員が女性だ。対馬ルリ子院長は著作やテレビで女性の健康について情報発信を続けている。最初の立ち上げは2002年に少し離れた銀座一丁目だったが、10年に現在のビルに移った。

銀座という立地は、働く女性のアクセス利便性と遠方からの来院者を考えてのもの。病院に行くとなると暗くなりがちだが、その後に銀座で買い物、お

食事という“ごほうび”があるわけだ。

診療科目は婦人科、乳腺科から内科、アンチエイジング科まで8科目と幅広い。医師の数は非常勤を含めて30人にもなる。診療科同士の連携も密に行われている。

クリニックの特徴は、丁寧なカウンセリングと検診、ドックの多彩さ。急な腹痛や出血で訪れる患者よりも、普段の不調をどこに相談していいかわからず悩んだ末に来院するケースが多いという。そのため、まずは悩みを聞くことから始める。

すぐに治療となることもあるし、まずは検診という



スタッフが明るい笑顔で迎える受付。木目調も使い落ち着いた雰囲気も



診察室では、医師と患者が同じ目線で話すために、同じいすで向き合う



おしゃれなカウンセリングルーム



ラウンジは家族との面会の場。壁一面に描かれた絵を見ながらリラックスできる



スタジオは専門家からピラティスなどの指導を受けられると好評だ

こともある。そして検診コースの細かさが女性たちに「自分に合った検診」という安心感を与える。設定されている15以上のコースに加え、相談の中で一人一人にカスタマイズしたオーダーメイド検診を行っている。さらに院内のスタジオでは、専門トレーナーを招いて、ストレッチ、ピラティスなど、より良い体を得るためのレッスンも組まれている。

これらの特徴には、対馬院長の「症状の治療だけでなく、健康管理、そしてより良い生活を実現させる」というポリシーが込められている。

院内設備は、診療室が4室、入院用の病室が1

室。ゆったりとした診療室では医師も患者も同じいすに座る。対等な立場でしっかりとコミュニケーションをとるためだ。内診台にオレンジ色を使用するなど、明るい雰囲気を醸し出している。

7階の浴室は、バスタブに漬かりながら窓から銀座の街を見下ろせる、少しぜいたくな造り。家族との面会に使われるラウンジは、壁一面に描かれた絵に囲まれている。

クリニックは新宿にもあり、こちらはデパートの中という足の運びやすさだ。これからも女性のQOL(生活の質)向上に尽力していくという。